

女性特有の病気の治癒や安産

ひこたきさん (彦瀧大明神)

鳥羽市河内町の丸山参道に沿って流れている彦瀧川の中腹にある神社が彦瀧大明神。別名“ひこたきさん”とも言う。女の神様と言われ、女性特有の病気の治癒や安産の信仰を集め、遠方から女性達が訪れ、清流で身を清めてから参拝する。

『諸国誌草稿』によれば、河内村創立の頃から祭祀が行われ、祭日は毎月4日で氏子はいなかったという。元々は彦瀧神社であったが後に底筒神社に改称、祭神は底筒男命となった。1910年(明治43年)3月20日に加茂神社へ合祀されたが、1958年(昭和33年)4月7日に彦瀧神社として旧社地に分祀された。

御神体は白蛇。毎月4のつく日が縁日であり、正月四日に大祭が行われる。



●住所：三重県鳥羽市河内町 ●公共交通機関でのアクセス：鳥羽バスセンターからかもめバス「国崎行き」で12分、岩倉にて下車、徒歩約40分 ●車でのアクセス：伊勢ICから伊勢二見鳥羽ライン経由で約20分 ●駐車場：無